ほたるっ子

磐梯第一小学校
学校だより第３２号
令和３年３月１６日
文責：校長　酒井康雄

あれから１０年、これから１０年、２０年・・・。

３月１１日。東日本大震災から１０年が経ちました。先月にも大きな地震がありましたが、大きな揺れを感じると、今だに震災を思い出す方も多いと思います。ただ、小学校の子どもたちにとっては震災の記憶がなかったり、生まれていなかったりして、震災の恐ろしさを想像することができないかもしれません。

【３月１１日　学校で掲げた半旗】

先週、学校では自然災害の恐ろしさ、災害から命を守る大切さ、被災後の人と人との絆の美しさなど、震災後に福島県で作成された道徳の副読本、震災当時の資料、担任の震災の体験談など、学年の子どもたちの実態に応じて震災を振り返る機会を設けました。

１０年後、お子さんの中には、磐梯町を離れて生活している人もいるかもしれません。もしかしたら、海沿いに生活しているかもしれません。もしかしたら、火山の近くで生活しているかもしれません。大きな川沿いに住んでいるかもしれません。大切なことは、住んでいる場所で想定される災害をハザードマップなどで確認したり想定される自然災害に備えたりして、**危険を予測して自分の命を守る**ことができるかどうかです。

【第3学年の様子】

【第4学年の様子】

２０年後、お子さんが親になったときに、**我が子に防災意識を受けつないでいく**・・・。それが、命をつなぐことにつながります。

【第5学年の様子】

【第6学年の様子】

保護者の皆さんも、震災当時の苦労を語ると、時間がいくらあっても足りないくらいではないかと思いますが、ぜひ、それぞれの震災体験をふまえ、**将来につながるお子さんの防災意識を高めましょう。**